

## 科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 29 年 5 月 19 日現在

機関番号：34304

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2013～2016

課題番号：25370190

研究課題名(和文)文化遺産としての「アジア」のシェイクスピアー沖縄の「夏の夜の夢」を中心にー

研究課題名(英文)"Asian" Shakespeare as Cultural Heritage -with special focus on "A Midsummer Night's Dream" in Okinawa

研究代表者

鈴木 雅恵 (SUZUKI, Masae)

京都産業大学・外国語学部・教授

研究者番号：70268291

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,700,000円

研究成果の概要(和文)：本研究では、沖縄の女性だけの琉球歌劇団、「乙姫劇団」の1960年の公演台本『時代幻想歌劇・真夏の夜の夢』の英訳をおこなった上で、1990年の40周年公演で追加された場面の検証をDVD記録を基におこなった。琉球語から日本語共通語への翻訳や、セリフの聞き取りには沖縄芝居研究家の大嶺佳代氏の協力を得た。

又、琉球歌劇版との比較のために、宝塚歌劇版の『夏の夜の夢』の変遷、ピーター・ブルックの来日公演以後の日本の演出家(主として野田秀樹)の『夏の夜の夢』におけるパックの表象、さらに、『夏の夜の夢』を消えゆく故郷の表象と捉えた、中江裕二監督の映画『さんかく山のマジルー 真夏の夜の夢』の分析をおこなった。

研究成果の概要(英文)：The focus of this project was on the study of the Ryukyuan Opera version of "A Midsummer Night's Dream" by the Otohimegekidan, the all-female troupe that emerged after World War II and disbanded in 2002. I have completed the English translation of their 1960 version of script in order to understand the nature of the locality and universality of the Otohime production. I also accompanied the Theatre Troupe Unai (whose core members are ex-Otohime actors) to Hawaii for cross-observation. There I confirmed the "ritual," shamanistic side of their troupe, succeeded from Otohime Gekidan. For comparison, I also analyzed the production of MND by the post-Peter Brook directors in mainland Japan such as Noda Hideki. I also referred to the film production "Sankaku Yama no Majiru" (a.k.a. "Okinawan Midsummer Night's Dream") as well as the various version of MND performed by the Takarazuka Girls Revue.

研究分野：比較演劇

キーワード：夏の夜の夢 乙姫劇団 琉球歌劇 沖縄 アジアのシェイクスピア 野田秀樹 劇団うない 間好子

### 1. 研究開始当初の背景

平成14年度から15年度まで、美学・比較文化の領域で、基盤研究(C)として助成を受けていたプロジェクト、「アジアのシェイクスピア受容と上演 沖縄と大和を出発点として」や拙論「Who are the Japanese Othellos?: Receptions and Productions of Shakespeare in Mainland Japan and Okinawa」(邦題「日本のオセロは何人か」 京都産業大学論集 人文系列第31号 pp.215-228 2004年)において述べたように、沖縄の演劇界でのシェイクスピア上演は沖縄の大和化の歴史と深い関係があり、さらに、沖縄演劇そのものの中に究めて汎アジア的な要素があることがしばしば指摘される。また、アジアの芸術家との交流の地点としても、今、沖縄が注目されてつつある。「日本」の演劇・映像において、自己オリエンタリズムとも解釈できる、「沖縄」の表象が、発信されつつあるともいえる。一方、沖縄の日本「復帰」の直前、当時ロイヤル・シェイクスピア劇団の芸術監督をつとめたピーター・ブルックは、「アジア」を意識した演出によって、画期的な『夏の夜の夢』の上演を行い、その来日公演が、野田秀樹を含め、現在活躍中のアジアの演劇人たちに多大な影響を与えたのは周知のとおりである。しかし、アメリカ占領下の沖縄では、女性だけの「乙姫劇団」が琉球歌劇の伝統を継承し、東西の伝統を融合した新しい演劇の形態をとる『幻想時代歌劇・真夏の夜の夢』を生み出していた。それ以後も、復帰後世代の「劇団大地」などが、沖縄の文化遺産と認定された城跡等で上演する等、沖縄の政治・文化状況を反映した形で『夏の夜の夢』が生まれ続けている。そうした背景の中、本研究は、平成22年度から24年度までの予定で採択された科研プロジェクト、「伝統演劇・地方劇・大衆文化と「日本」のシェイクスピア—大和と沖縄を中心に—」(課題番号22520159)をさらに発展させるために開始された。

### 2. 研究の目的

本研究では、アジアのシェイクスピア上演の中でも、特に土着の「伝統芸能」と融合される傾向のある『夏の夜の夢』(*A Midsummer Night's Dream*)に注目し、沖縄演劇における『夏の夜の夢』の受容と変容、及び、『夏の夜の夢』のイメージと重ねられる「沖縄」の表象そのものを分析し、英語論文として発信し、同作品の翻案および上演形態に現れる沖縄・大和・アジア・西欧の関係を明らかにすると共に、沖縄芝居に受容された同作品と、沖縄を舞台にした映像に受容されたシェイクスピア作品に、「アジア」の中での、沖縄を含む「日本」の identity を問うことを目的としている。そして、最終的には、シェイクスピアという西欧の文化遺産が、「日本」を含むアジア圏の文化遺産である伝統演劇とどう融合し、文化商品(cultural products)

として、どう加工され、消費されているかを分析することにより、最近見受けられる「アジアのシェイクスピア研究」を補完し、また、西欧演劇理論と「アジア」の演劇状況との差を是正することを目標とする。

### 3. 研究の方法

第一に、シェイクスピアの *A Midsummer Night's Dream* の初演時の文化的背景に関する文献研究。主として David Wiles 氏の著書 *Shakespeare's Almanac "A Midsummer Night's Dream"*, *Marriage and the Elizabethan Calendar* (D.S.Brewer, Cambridge, 1993) 及び Jay Williams, Cary の *"Our Moonlight Revels"* (Iowa University Press, 1997) を参照した。

第二に、沖縄での上演の文化的・歴史的背景を知るための文献研究。『伊波普猷全集』をはじめ、主たる「沖縄学」の研究書を芸能・祭祀関係を中心におこなった。沖縄の演劇の古層に関しては、大嶺可代氏の「四つの層」説を参照した。

第三に、沖縄を含む、「日本」の『夏の夜の夢』(*A Midsummer Night's Dream*)の上演様式及び上演台本の分析。これには、琉球語で書かれた『幻想時代歌劇・真夏の夜の夢』の上演台本をまず日本語共通語に訳し、それを英語訳するという作業が含まれた。琉球語の台詞の解釈や聞き取りは、主として研究協力者で沖縄芝居研究家の大嶺可代氏の力を借りた。

第四に、沖縄及び海外での聞き取り調査。文献でははっきり記載されていない情報を現地の演劇関係者から収集した。これには、劇団「うない」のハワイ公演への同行取材も含まれる。

第五に、沖縄県立芸大付属研究所に保管されている乙姫劇団興業日誌等、興行記録の分析。乙姫劇団興業日誌は現在原則として非公開のため、紹介者の大嶺佳代氏の立ち合い可能な日時におこなった。

第六に、翻案舞台の背景となった地域の現地調査。特に、シェイクスピアの原作では「アテネの森」に該当する、沖縄の「西森」の調査。

第七に、舞台の宣伝用写真および記録映像の分析。特に、乙姫劇団の『時代歌劇・真夏の夜の夢』の初演(1954年)に関しては、スチール写真が一枚あるだけなので、その分析に関しては、ロンドン大学ロイヤル・ホロウェイ校芸術学科演劇学大学院の教授陣のアドバイスを受けた。

第八に、海外のアジア演劇及び異文化交流演劇研究者の理論を参照した。その中には1954年に沖縄にアジア演劇研究の取材に訪れた Faubian Bowers の "Theatre in the East" (1956), James Brandon の *Some Shakespeare(s) in Some Asia(s)*、Steve Rabson の "Assimilation Policy in Okinawa: Promotion, Resistance, and

‘ Reconstruction ’ ” (1996), Rustom Bharucha の “ Foreign Asia / Foreign Shakespeare: Dissenting Notes on New Asian Interculturality, Postcoloniality, and Recolonization ” ( 2004 ), Tani E. Barlow の “ Formations of Colonial Modernity in East Asia ” (1997), Patrice Pavis の Hourglass Theory (1992) 等が含まれる。但し、Hourglass Theory に関しては、Lo and Gilbert や Bharucha 等の批判の対象になった、source culture から target culture へと一方的に砂が流れるモデルではなく、Siyuan Liu が日本の新派劇が中国の初期の話劇の成立に果たした役割を分析するために提唱した、砂時計を二つ接合させた形の変形モデル (2006) を使った。

#### 4 . 研究成果

学会発表や、出版物のほか、乙姫劇団の1960年の興行用台本、『幻想時代歌劇・真夏の夜の夢』の英訳、同劇団の1990年のDVD記録に基づく加筆場面の分析、それらに基づく英文論文 “ A Midsummer Night ’ s Dream in Okinawa ” の主要部分を完成し、野田秀樹との比較研究をおこなった。

乙姫劇団の1960年の台本の翻訳作業にあたっては、特に、第二幕の「西森」(シェイクスピアの原作では「アテネの森」)のチャーギーの下で、「東西南北の神」が集まるという場面は難解であったが、劇団「うない」のハワイ公演へ同行した時の密着取材において、元「乙女劇団」の劇団員が、その土地の霊を感知し、また、舞台上で東西南北の神(実際には三方)に祈りを捧げてから稽古を行う風習があることを確認してからは、劇団員が祈りを捧げる対象と関係があることに気が付いた。そうした翻案の背景を調べるために現地を取材したところ、首里城のガイドから城の北の位置にある公園の存在を知り、また、その地域の警察から正確な位置を聞いた上で「西森」を訪れ、海を見おろす森の中に御嶽があることを確認できた。この風景は、1954年の初演時のスチール写真(タイターニアにあたる女神に、オーベロンにあたる雄神が花の汁を注ごうとしている場面だが、背景に海がある)とも一致する。しかし、この東西南北の神の場面は、1990年の上演では省略され、七人の村人(シェイクスピアの原作では、アテネの職人たち)の劇中劇の稽古場面に代わっている。

劇団「大地」の照屋京子も、『夏の夜の夢』の中に、土着の霊的な力への信仰を感じ、座喜見城の跡での野外上演に踏み切っている。また、野田秀樹の『真夏の夜の夢』の中の、言霊と共に消える妖精も、中江裕司監督の映画『真夏の夜の夢 - 三角山のマジルー』の中の、消えゆくキジムナーも、消失した東西南北の神とかかわりがあるのであろうか。『夏の夜の夢』の舞台となったギリシャでも、本

来は東西南北の神への信仰があったはずである。そうした東西比較文化的な視点にたった結論には達しなかったが、『夏の夜の夢』の中のアニミズムに関する疑問を呈したところで、成果発表の論文は終わっている。

#### 5 . 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計2件)

- 1 . Masae Suzuki “ Shinsaku-Noh Othello ” , Shakespeare Studies Volume 53, The Shakespeare Society of Japan, 2016年3月, pp.79-82 査読あり
- 2 . 鈴木雅恵 「劇団うない十周年によせて」、『うないの花』、劇団うない後援会刊行、2014年12月、p.7 査読なし

[学会発表](計12件)

- 1 . Masae Suzuki, Timothy Medlock, Masaru Inoue and Andrew Eglinton “ Bilingual Panel: Is all the World Still a Stage? Shakespeare and Higher Education in Japan ” 日本演劇学会秋の研究集会、京都産業大学 神山ホール 第一セミナー室、京都府、2016年12月3日
- 2 . Masae Suzuki, “ Shakespeare, Noh, Kumiodori and Ryukyu Opera: Recreating Shakespeare in classical Japanese and Okinawan theatre ” (paper for the seminar “ Shakespeare in Asia: Politics, Cultural Identity and Gender ”), World Shakespeare Congress(国際シェイクスピア学会), Edward VI School, Stratford-Upon-Avon, Warwickshire, 英国, 2016年8月3日
- 3 . 鈴木雅恵 『新作能マクベス』への道」日本比較文学会関西支部研究例会読書会の中での発表、帝塚山学院大学狭山キャンパス図書館 2階スマートラボ内 F棟 201教室、大阪府、2016年、4月16日
- 4 . Masae Suzuki, “ Democracy in Okinawan Shakespeare ” FIRT(国際演劇学会) ハイデラバード大学、インド 2015年、7月9日
- 5 . Masae Suzuki “ The Stratifications of the Okinawan Versions of *A Midsummer Night's Dream* -from rituals to theatre and film” -, FIRT(国際演劇学会), University of Warwick, 英国 2014年7月30日
- 6 . 鈴木雅恵 「日本の『マクベス』の受容と発信」羽衣国際大学日本文化研究所プロジェクト「東西伝統演劇の融合 - 劇能の創作と上演 - 」 羽衣国際大学、大阪府、2014年7月4日

- 7 . Masae Suzuki “A Midsummer Night’s Dream in Okinawa” 日本演劇学会 (於・摂南大学、大阪府)、2014年6月14日
- 8 . Masae Suzuki “Cross-Dressing in Shakespeare” International Conference on Shakespeare in Asia, University of Taipei, (於・国立台湾大学、台北) 5月17日, 2014年
- 9 .Jonah Salz, Masae Suzuki, Matt Dubroff, Gary Mathews, William Lee, Peter Alexander Eckersall, “Noh Use : Mideaval Dance Drama in Japan”, Association of Asian Studies, Philadelphia Downtown Marriotte, PA, U.S.A. ,2014年3月27日
- 10 . Masae Suzuki “The Duality of Okinawan Theatre: Facing 'China' and 'Japan' ” CHINOPERL Conference at Philadelphia Downtown Marriotte Room 306, PA, U.S.A. ,2014年3月27日
- 11 . Masae Suzuki “The Fantasy Plays of Otohime Gekidan and Unai ”, Lecture Demonstration at Room 36, Music Building, University of Hawaii in Manoa, U.S.A. 2013年10月25日
- 12 . Masae Suzuki “Root and Routes: The Transformation of Puck in Mainland Japan and Okinawa ”, FIRT(国際演劇学会) Institute of Theatre, Barcelona, Spain 2013年7月23日

[ 図書 ] ( 計 2 件 )

共著 1. Jonah Salz 編、Masae Suzuki, Masaaki Nakano, James Brandon, Monica bethe, Cod Poulton, Lawrence Kominz, Thomas Riner, Samuel Leiter, Paul Griffith, William Lee, Barbara Thornbury, Daniel Gallimore and 47 others, *A History of Japanese Theatre*, Cambridge University Press, 2016 (ISBN:9781107034242) pp.150-154 査読あり

共著 2 . 泉紀子編、泉紀子、荒木泰子、恵阪悟、鈴木雅恵、辰巳満次郎、Yilin Chen, 中尾薫、西村富美子、藤原千沙、三橋可奈子、野村萬斎 『新作能マクベス』(DVDつき) 和泉書院 2015年10月刊行 (ISBN:9784757607538) 鈴木雅恵の担当分は総ページ数165のうち、p.27, pp.64-73 pp.138-161のほか、付属DVDの英語字幕翻訳もおこなった。

## 6 . 研究組織

### (1) 研究代表者

鈴木 雅恵 (SUZUKI, Masae)  
京都産業大学・外国語学部・教授  
研究者番号 : 70268291

### (4) 研究協力者

大嶺 可代 (OHMINE, Kayo)  
沖縄県立芸術大学付属研究所